

公益社団法人砂防学会

代議員 各位

公益社団法人 砂防学会
会 長 藤田 正治



令和 4 年度定時社員総会開催について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

常日頃から当学会活動へのご支援ご協力ありがとうございます。

さて、公益社団法人砂防学会令和 4 年度定時社員総会を下記のとおり開催いたします。
今年の総会は新型コロナウイルスの感染拡大防止策に万全を期し開催させていただきます。よろしくお願い申し上げます。

なお、砂防学会 HP へ掲載しております総会議案書をご高覧の上、お手数ながら別紙「回答書」を 6 月 6 日（月）までにメール又は F A X にてご返信いただきたくお願い申し上げます。

記

日 時	令和 4 年 6 月 8 日（水）14：00～15：00（予定）
場 所	砂防会館別館（シェーンバッハ・サボー）1F「木曾」 東京都千代田区平河町 2-7-4 TEL03-3261-8386
議 案	第 1 号議案 令和 3 年度収支決算の承認を求める件 第 2 号議案 第 6 期役員選任を求める件
（報告事項）	第 1 号報告 令和 3 年度事業報告の件 第 2 号報告 令和 4 年度事業計画の報告の件 第 3 号報告 令和 4 年度収支予算の報告の件

※本総会案内は、当学会の社員である代議員の方にご通知しています。

なお、15:30 から砂防学会長である藤田正治（京都大学防災研究所教授）の講演会を開催いたします。一般の方も参加可能です。受講証明（CPD）は講演終了後会場にて配付いたします。

以 上

お問い合わせ

公益社団法人砂防学会
事務局長 杉浦 信男
電話：03-3222-0747
E-Mail：sabo274@abox3.so-net.ne.jp

(E-mail:sabo274@abox3. so-net. ne. jp)

(FAX 03-3230-6759)

公益社団法人砂防学会

会長 藤田正治 殿

(公社) 砂防学会令和4年度定時社員総会
委任状・議決権行使書

令和4年6月8日(水)開催の公益社団法人砂防学会令和4年度定時社員総会について、以下の通りお知らせ致します。

支部名 _____ 代議員氏名 _____ 印 _____

令和4年度定時社員総会について

※該当の番号に☑の上、ご記入をお願い致します。

☐1. 委任状

私は、議長に議決権の一切を委任します。

☐2. 議決権行使書

私は定時社員総会出席に代え、以下の通り書面で議決権を行使します。

(各議案毎に、承認・否認のいずれかに「○」をつけて下さい。)

◎第1号議案 承認 ・ 否認

◎第2号議案 承認 ・ 否認

令和 4 年度定時社員総会



令和 4 年 6 月 8 日

砂防会館別館（東京都千代田区）

公益社団法人砂防学会

目 次

第 1 号議案	令和 3 年度収支決算の承認を求める件	3
第 2 号議案	第 6 期役員選任を求める件	21
第 1 号報告	令和 3 年度事業報告の件	25
第 2 号報告	令和 4 年度事業計画の報告の件	43
第 3 号報告	令和 4 年度収支予算の報告の件	49

令和 4 年度公益社団法人砂防学会定時社員総会次第

日 時 令和 4 年 6 月 8 日（水）14 時～15 時予定

場 所 砂防会館別館 会議室「木曽」（東京都千代田区）

開 会

1. 会長挨拶

2. 議 題

（議事録署名人選任）

【審議事項】

第 1 号議案 令和 3 年度収支決算の承認を求める件

第 2 号議案 第 6 期役員選任を求める件

【報告事項】

第 1 号報告 令和 3 年度事業報告の件

第 2 号報告 令和 4 年度事業計画の報告の件

第 3 号報告 令和 4 年度収支予算の報告の件

閉 会

公益社団法人砂防学会 会員実勢

	令和4年度期首	令和3年度期首	増減 (人数)
(会員種別)			
正会員	1, 897	1, 897	増減無
個人 国内	1, 890	1, 891	1 減
個人 海外	7	6	1 増
購読会員	196	199	3 減
名誉会員	2	3	1 減
学生会員	125	142	17減
賛助会員	207	207	増減無
特級	19	19	増減無
一級	28	28	増減無
二級	40	39	1 増
三級	120	121	1 減

審議事項

第 1 号議案

令和 3 年度収支決算の承認を求める件

貸借対照表

令和4年3月31日現在(決算)

(単位: 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
流動資産			
現金預金	43,025,195	47,060,218	△ 4,035,023
現 金	83,650	158,147	△ 74,497
郵便振替	10,740,619	14,653,960	△ 3,913,341
郵便貯金	479,655	479,651	4
普通預金	26,721,271	26,768,460	△ 47,189
定期預金	5,000,000	5,000,000	0
未収金	1,832,200	1,630,289	201,911
前払金	440,920	607,640	△ 166,720
仮払金	10,000	10,440	△ 440
流動資産合計	45,308,315	49,308,587	△ 4,000,272
固定資産			
基本財産			
定期預金	30,000,000	30,000,000	0
基本財産合計	30,000,000	30,000,000	0
特定資産			
退職給付引当資産	10,463,390	10,173,032	290,358
減価償却引当資産	698,620	698,620	0
学術国際協力事業積立資産	0	0	0
特定資産合計	11,162,010	10,871,652	290,358
その他固定資産			
什器備品	4	4	0
ソフトウェア	203,040	406,080	△ 203,040
敷 金	1,120,000	1,120,000	0
その他固定資産合計	1,323,044	1,526,084	△ 203,040
固定資産合計	42,485,054	42,397,736	87,318
資産合計	87,793,369	91,706,323	△ 3,912,954
II 負 債 の 部			
流動負債			
未払金	5,149,600	3,016,305	2,133,295
前受金	3,119,500	2,958,000	161,500
預り金	239,976	233,500	6,476
未払消費税等	445,500	0	445,500
流動負債合	8,954,576	6,207,805	2,746,771
固定負債			
退職給付引当金	10,463,390	10,173,032	290,358
固定負債合計	10,463,390	10,173,032	290,358
負債合計	19,417,966	16,380,837	3,037,129
III 正 味 財 産 の 部			
一般正味財産	68,375,403	75,325,486	△ 6,950,083
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(11,162,010)	(10,871,652)	(290,358)
正味財産合計	68,375,403	75,325,486	△ 6,950,083
負債及び正味財産合計	87,793,369	91,706,323	△ 3,912,954

令和3年度(公社)砂防学会 正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日(決算)まで

(単位: 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
基本財産運用益	600	3,008	△ 2,408
基本財産受取利息	600	3,008	△ 2,408
受取会費	27,652,500	27,392,000	260,500
正会員受取会費	17,663,500	16,823,000	840,500
購読会員受取会費	1,392,000	1,503,000	△ 111,000
学生会員受取会費	387,000	576,000	△ 189,000
賛助会員受取会費	8,210,000	8,490,000	△ 280,000
事業収益	17,066,120	15,906,765	1,159,355
出版事業収益	7,355,120	8,061,765	△ 706,645
研究発表会開催収益	6,347,000	1,950,000	4,397,000
シンポジウム開催収益		0	0
講習会等開催収益	79,000	0	79,000
受託事業収益	1,353,000	1,705,000	△ 352,000
資格認定事業収益	1,932,000	4,190,000	△ 2,258,000
受取補助金等	1,000,000	1,000,000	0
受取民間助成金	1,000,000	1,000,000	0
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
雑収益	29,753	42,045	△ 12,292
受取利息	275	649	△ 374
雑収益	29,478	41,396	△ 11,918
經常収益計	45,748,973	44,343,818	1,405,155
經常費用			
事業費	39,991,647	35,679,906	4,311,741
給料手当	6,536,317	6,198,295	338,022
福利厚生費	798,719	801,104	△ 2,385
旅費交通費	542,288	708,023	△ 165,735
通信運搬費	368,909	418,146	△ 49,237
支払手数料	899,986	937,645	△ 37,659
消耗品費	65,172	90,159	△ 24,987
会議費	183,880	136,935	46,945
印刷製本費	106,820	91,328	15,492
光熱水料	22,013	19,767	2,246
賃借料	1,380,390	1,360,144	20,246
諸謝金	602,000	709,200	△ 107,200
租税公課	600	600	0
委託費	0	0	0
研究開発費	82,292	0	82,292
編集費	441,950	27,830	414,120
国庫業務費	0	0	0
事務費	69,460	167,310	△ 97,850
総務費	250,978	138,390	112,588

(単位: 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
出版事業費	17,804,754	16,840,311	964,443
図書館運営費	1,100,000	1,100,440	△ 440
研究発表会等開催費	4,088,211	1,278,972	2,809,239
研究費	2,715,187	2,572,593	142,594
表彰制度運営費	143,440	242,160	△ 98,720
資格認定事業費	1,631,300	1,469,824	161,476
支部活動費	139,794	354,230	△ 214,436
雑費	17,187	16,500	687
管理費	12,707,409	12,423,173	284,236
給料手当	6,536,318	6,198,296	338,022
退職給付費用	290,358	639,998	△ 349,640
福利厚生費	798,719	801,105	△ 2,386
会議費	170,160	132,515	37,645
旅費交通費	504,929	659,263	△ 154,334
通信運搬費	368,909	418,146	△ 49,237
減価償却費	203,040	203,040	0
支払手数料	892,705	930,551	△ 37,846
消耗品費	65,172	90,160	△ 24,988
印刷製本費	106,820	91,329	15,491
光熱水料費	22,014	19,767	2,247
賃借料	1,380,390	1,360,144	20,246
諸謝金	0	0	0
租税公課	446,600	540,984	△ 94,384
役員改選費	589,087	0	589,087
支払負担金	315,000	321,375	△ 6,375
雑費	17,188	16,500	688
経常費用計	52,699,056	48,103,079	4,595,977
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 6,950,083	△ 3,759,261	△ 3,190,822
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 6,950,083	△ 3,759,261	△ 3,190,822
経常外増減の部			
経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
経常外費用計			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 6,950,083	△ 3,759,261	△ 3,190,822
一般正味財産期首残高	75,325,486	79,084,747	△ 3,759,261
一般正味財産期末残高	68,375,403	75,325,486	△ 6,950,083
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	68,375,403	75,325,486	△ 6,950,083

令和3年度(公社)砂防学会 正味財産増減計算内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日(決算)まで

(単位: 円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
	調査研究・技術者育成事業	法人会計		
I 一般正味財産増減の部				
經常増減の部				
經常収益				
基本財産運用益	600	0	0	600
基本財産受取利息	600			600
受取会費	17,931,250	9,721,250	0	27,652,500
正会員受取会費	8,831,750	8,831,750		17,663,500
購読会員受取会費	696,000	696,000		1,392,000
学生会員受取会費	193,500	193,500		387,000
賛助会員受取会費	8,210,000			8,210,000
事業収益	17,066,120	0	0	17,066,120
出版事業収益	7,355,120			7,355,120
研究発表会開催収益	6,347,000			6,347,000
シンポジウム開催収益	0			0
講習会等開催収益	79,000			79,000
受託事業収益	1,353,000			1,353,000
資格認定事業収益	1,932,000			1,932,000
受取補助金等	1,000,000	0	0	1,000,000
受取民間助成金	1,000,000			1,000,000
受取寄付金	0	0	0	0
受取寄付金	0			0
雑収	29,616	137	0	29,753
受取利息	138	137		275
雑収	29,478			29,478
經常収益計	36,027,586	9,721,387	0	45,748,973
經常費用				
事業費用	39,991,647	0	0	39,991,647
給料手当	6,536,317			6,536,317
福利厚生費	798,719			798,719
旅交通費	542,288			542,288
通信搬費	368,909			368,909
支払手数料	899,986			899,986
消耗品費	65,172			65,172
会議費	183,880			183,880
印刷製本料	106,820			106,820
光熱水料	22,013			22,013
賃借料	1,380,390			1,380,390
諸謝金	602,000			602,000
租税公課	600			600
委託費	0			0
研究開発費	82,292			82,292
編集部	441,950			441,950
国際部	0			0
事務部	69,460			69,460
総務部	250,978			250,978

(単位: 円)

科 目	公益目的事業会計	法 人 会 計	内部取引等消去	合 計
	調査研究・技術者育成事業	法 人 会 計		
出版事業費	17,804,754			17,804,754
図書館運営費	1,100,000			1,100,000
研究発表会等開催費	4,088,211			4,088,211
研究費	2,715,187			2,715,187
表彰制度運営費	143,440			143,440
資格認定事業費	1,631,300			1,631,300
支部活動費	139,794			139,794
雑費	17,187			17,187
管理費	9,608,769	3,098,640	0	12,707,409
給料手当	5,555,871	980,447		6,536,318
退職給付費用	246,805	43,553		290,358
福利厚生費	678,912	119,807		798,719
会議費	144,636	25,524		170,160
旅費交通費	429,190	75,739		504,929
通信運搬費	313,573	55,336		368,909
減価償却費	172,584	30,456		203,040
支払手数料	0	892,705		892,705
消耗品費	55,397	9,775		65,172
印刷製本費	90,797	16,023		106,820
光熱水料費	18,712	3,302		22,014
賃借料	1,173,332	207,058		1,380,390
諸謝金	0	0		0
租税公課	446,600	0		446,600
役員改選費	0	589,087		589,087
支払負担金	267,750	47,250		315,000
雑費	14,610	2,578		17,188
経常費用計	49,600,416	3,098,640	0	52,699,056
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 13,572,830	6,622,747	0	△ 6,950,083
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 13,572,830	6,622,747	0	△ 6,950,083
経常外増減の部				
経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 13,572,830	6,622,747	0	△ 6,950,083
一般正味財産期首残高	28,431,171	46,894,315	0	75,325,486
一般正味財産期末残高	14,858,341	53,517,062	0	68,375,403
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	14,858,341	53,517,062	0	68,375,403

財 産 目 録
令和4年3月31日現在(決算)

(単位: 円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金	83,650
	郵便振替	ゆうちょ銀行	運転資金	10,740,619
	郵便貯金	ゆうちょ銀行	運転資金	479,655
	普通預金	三菱UFJ銀行 麹町支店	運転資金	10,538,670
		みずほ銀行 麹町支店	運転資金	16,182,601
	定期預金	三菱UFJ銀行 麹町支店	運転資金	5,000,000
	未収金		砂防学会誌広告料	829,080
			受託業務代金	759,000
			刊行物代金	244,120
	前払金		令和4年度研究発表会等開催費	282,520
		(一社)全国治水砂防協会	令和4年4月分事務局家賃	158,400
	仮払金		受託事業会議費等	10,000
流動資産合計				45,308,315
(固定資産)				
基本財産				
	定期預金	三菱UFJ銀行 麹町支店	公益目的保有資産であり、運用益を調査研究・技術者育成事業の財源として使用している。	30,000,000
特定資産				
	退職給付引当資産	三菱UFJ銀行 麹町支店	職員の退職金支払いの財源として積み立てている。	10,463,390
	減価償却引当資産	三菱UFJ銀行 麹町支店	備品等購入の財源とするために積み立てている資産であり、資産取得資金として管理されている。	698,620
	学術国際協力事業積立資産	三菱UFJ銀行 麹町支店	学術国際協力事業の財源として積み立てている。	0
その他固定資産				
	什器備品	パソコン他	事務局で使用している財産である。	4
	ソフトウェア	ウェブサイト	ウェブサイト製作費	203,040
	敷金	(一社)全国治水砂防協会	事務局の貸借に伴う保証金である。	1,120,000
固定資産合計				42,485,054
資産合計				87,793,369
(流動負債)				
	未払金		学会誌印刷発送費	4,375,349
			福利厚生費	101,178
			退職給付引当資産振替	290,358
			委員会関係	217,570
			受託事業関係	103,280
			その他	61,865
	前受金		令和4年度分会費収入	3,119,500
	預り金		源泉所得税等	239,976
	未払消費税等		消費税等令和3年度確定税額	445,500
流動負債合計				8,954,576
(固定負債)				
	退職給付引当金		令和3年度期末要支給額	10,463,390
固定負債合計				10,463,390
負債合計				19,417,966
正味財産				68,375,403

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 会計方針

「公益法人会計基準」(平成 20 年 12 月 1 日 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基いて計上している。

(3) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	30,000,000	0	0	30,000,000
小計	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	10,173,032	290,358	0	10,463,390
減価償却引当資産	698,620	0	0	698,620
学術国際協力事業積立資産	0	0	0	0
小計	10,871,652	290,358	0	11,162,010
合計	40,871,652	290,358	0	41,162,010

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	30,000,000	(0)	(30,000,000)	(0)
小計	30,000,000	(0)	(30,000,000)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	10,463,390	(0)	(0)	(10,463,390)
減価償却引当資産	698,620	(0)	(698,620)	(0)
学術国際協力事業積立資産	0	(0)	(0)	(0)
小計	11,162,010	(0)	(698,620)	(10,463,390)
合計	41,162,010	(0)	(30,698,620)	(10,463,390)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

什器備品科目の物件	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
机、椅子、金庫	99,825	99,824	1
パソコン 日本ゲートウェイ	264,815	264,814	1
プリンター キヤノン LASER SHOT LBP-1610	105,819	105,818	1
パソコン エプソン	228,165	228,164	1
合計	698,624	698,620	4

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等 の名称	交 付 者	前期末 残 高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残 高	貸借対照表上 の記載区分
助成金	(一社)全国治水砂防協会	0	1,000,000	1,000,000	0	流動資産
計		0	1,000,000	1,000,000	0	

付 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産	退職給付引当資産	10,173,032	290,358	0	10,463,390
	減価償却引当資産	698,620	0	0	698,620
	学術国際協力事業積立資産	0	0	0	0

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	10,173,032	290,358	0	0	10,463,390

令和3年度(公社)砂防学会 収支計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日(決算)まで

(単位: 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
事業活動収入				
基本財産運用収入	3,000	600	2,400	
基本財産利息収入	3,000	600	2,400	
会費収入	26,389,000	27,652,500	△ 1,263,500	
正会員会費収入	16,339,000	17,663,500	△ 1,324,500	
購読会員会費収入	1,200,000	1,392,000	△ 192,000	
学生会員会費収入	460,000	387,000	73,000	
賛助会員会費収入	8,390,000	8,210,000	180,000	
事業収入	19,930,000	17,066,120	2,863,880	
出版事業収入	8,500,000	7,355,120	1,144,880	
研究発表会開催収入	5,650,000	6,347,000	△ 697,000	
シンポジウム開催収入	0	0	0	
講習会等開催収入	800,000	79,000	721,000	
受託事業収入	1,500,000	1,353,000	147,000	
資格認定事業収入	3,480,000	1,932,000	1,548,000	
補助金等収入	1,000,000	1,000,000	0	
民間助成金収入	1,000,000	1,000,000	0	
寄附金収入	100,000	0	100,000	
寄附金収入	100,000	0	100,000	
雑収入	28,000	29,753	△ 1,753	
受取利息収入	500	275	225	
雑収入	27,500	29,478	△ 1,978	
事業活動収入計	47,450,000	45,748,973	1,701,027	
事業活動支出				
事業費支出	43,307,600	39,991,647	3,315,953	
給料手当支出	6,000,000	6,536,317	△ 536,317	
福利厚生費支出	700,000	798,719	△ 98,719	
旅費交通費支出	900,000	542,288	357,712	
通信運搬費支出	350,200	368,909	△ 18,709	
支払手数料支出	900,000	899,986	14	
消耗品費支出	70,000	65,172	4,828	
会議費支出	200,000	183,880	16,120	
印刷製本費支出	90,000	106,820	△ 16,820	
光熱水料費支出	25,000	22,013	2,987	
賃借料支出	1,375,000	1,380,390	△ 5,390	
諸謝金支出	800,000	602,000	198,000	
租税公課支出	300,400	600	299,800	
委託費支出	0	0	0	
研究開発部	700,000	82,292	617,708	
編集部	900,000	441,950	458,050	
国際部	900,000	0	900,000	
事業部	400,000	69,460	330,540	
総務部	200,000	250,978	△ 50,978	
出版事業費支出	16,000,000	17,804,754	△ 1,804,754	

(単位: 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
図 書 館 運 営 費 支 出	1,110,000	1,100,000	10,000	
研 究 発 表 会 等 開 催 支 出	5,450,000	4,088,211	1,361,789	
研 究 費 支 出	3,050,000	2,715,187	334,813	
表 彰 制 度 運 営 費 支 出	250,000	143,440	106,560	
資 格 認 定 事 業 費 支 出	1,400,000	1,631,300	△ 231,300	
支 部 活 動 費 支 出	1,200,000	139,794	1,060,206	
雑 支 出	37,000	17,187	19,813	
管 理 費	11,262,400	12,214,011	△ 951,611	
給 料 手 当 支 出	6,000,000	6,536,318	△ 536,318	
福 利 厚 生 費 支 出	700,000	798,719	△ 98,719	
会 議 費 支 出	180,000	170,160	9,840	
旅 費 交 通 費 支 出	750,000	504,929	245,071	
通 信 運 搬 費 支 出	350,000	368,909	△ 18,909	
支 払 手 数 料 支 出	890,000	892,705	△ 2,705	
消 耗 品 費 支 出	70,000	65,172	4,828	
印 刷 製 本 費 支 出	90,000	106,820	△ 16,820	
光 熱 水 料 費 支 出	25,000	22,014	2,986	
賃 借 料 支 出	1,375,000	1,380,390	△ 5,390	
諸 謝 金 支 出	0	0	0	
租 税 公 課 支 出	300,000	446,600	△ 146,600	
役 員 改 選 費 支 出	200,000	589,087	△ 389,087	
負 担 金 支 出	320,000	315,000	5,000	
雑 支 出	12,400	17,188	△ 4,788	
事 業 活 動 支 出 計	54,570,000	52,205,658	2,364,342	
事 業 活 動 収 支 差 額	△ 7,120,000	△ 6,456,685	△ 663,315	
Ⅱ 投 資 活 動 収 支 の 部				
投 資 活 動 収 入				
特 定 資 産 取 崩 収 入	0	0	0	
退 職 給 付 引 当 資 産 取 崩 収 入	0	0	0	
学 術 国 際 協 力 事 業 積 立 資 産 取 崩 収 入	0	0	0	
投 資 活 動 収 入 計	0	0	0	
投 資 活 動 支 出				
特 定 資 産 取 得 支 出	0	290,358	△ 290,358	
退 職 給 付 引 当 資 産 取 得 支 出	0	290,358	△ 290,358	
学 術 国 際 協 力 事 業 積 立 資 産 取 得 支 出	0	0	0	
固 定 資 産 取 得 支 出	0	0	0	
ソ フ ト ウ ェ ア 購 入 支 出	0	0	0	
投 資 活 動 支 出 計	0	290,358	△ 290,358	
投 資 活 動 収 支 差 額	0	△ 290,358	290,358	
Ⅲ 財 務 活 動 収 支 の 部				
財 務 活 動 収 支 差 額	0	0	0	
Ⅳ 予 備 費 支 出	0	0	0	
当 期 収 支 差 額	△ 7,120,000	△ 6,747,043	△ 372,957	
前 期 繰 越 収 支 差 額	43,100,782	43,100,782	0	
次 期 繰 越 収 支 差 額	35,980,782	36,353,739	△ 372,957	

令和3年度(公社)砂防学会収支計算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日(決算)まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
	調査研究・技術者育成事業			
I 事業活動収支の部				
事業活動収入				
基本財産運用収入	600	0	0	600
基本財産利息収入	600			600
会 費 収 入	17,931,250	9,721,250	0	27,652,500
正 会 員 会 費 収 入	8,831,750	8,831,750		17,663,500
購読会員会費収入	696,000	696,000		1,392,000
学生会員会費収入	193,500	193,500		387,000
賛助会員会費収入	8,210,000			8,210,000
事業収入	17,066,120	0	0	17,066,120
出版事業収入	7,355,120			7,355,120
研究発表会開催収入	6,347,000			6,347,000
シンポジウム開催収入	0			0
講習会等開催収入	79,000			79,000
受託事業収入	1,353,000			1,353,000
資格認定事業収入	1,932,000			1,932,000
補助金等収入	1,000,000	0	0	1,000,000
民間助成金収入	1,000,000			1,000,000
寄 附 金 収 入	0	0	0	0
寄 附 金 収 入	0			0
雑 収 入	29,616	137	0	29,753
受 取 利 息 収 入	138	137		275
雑 収 入	29,478			29,478
事業活動収入計	36,027,586	9,721,387	0	45,748,973
事業活動支出				
事業費支出	39,991,647	0	0	39,991,647
給料手当支出	6,536,317			6,536,317
福利厚生費支出	798,719			798,719
旅費交通費支出	542,288			542,288
通信運搬費支出	368,909			368,909
支払手数料支出	899,986			899,986
消耗品費支出	65,172			65,172
会議費支出	183,880			183,880
印刷製本費支出	106,820			106,820
光熱水料費支出	22,013			22,013
賃借料支出	1,380,390			1,380,390
諸謝金支出	602,000			602,000
租税公課支出	600			600
委託費支出	0			0
研究開発部	82,292			82,292
編集部	441,950			441,950
国際部	0			0
事業部	69,460			69,460
総務部	250,978			250,978
出版事業費支出	17,804,754			17,804,754

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
	調査研究・技術者育成事業			
図 書 館 運 営 費 支 出	1,100,000			1,100,000
研究発表会等開催支出	4,088,211			4,088,211
研 究 費 支 出	2,715,187			2,715,187
表彰制度運営費支出	143,440			143,440
資格認定事業費支出	1,631,300			1,631,300
支 部 活 動 費 支 出	139,794			139,794
雑 支 出	17,187			17,187
管 理 費	9,189,380	3,024,631	0	12,214,011
給 料 手 当 支 出	5,555,871	980,447		6,536,318
福 利 厚 生 費 支 出	678,912	119,807		798,719
会 議 費 支 出	144,636	25,524		170,160
旅 費 交 通 費 支 出	429,190	75,739		504,929
通 信 運 搬 費 支 出	313,573	55,336		368,909
支 払 手 数 料 支 出	0	892,705		892,705
消 耗 品 費 支 出	55,397	9,775		65,172
印 刷 製 本 費 支 出	90,797	16,023		106,820
光 熱 水 料 費 支 出	18,712	3,302		22,014
賃 借 料 支 出	1,173,332	207,058		1,380,390
諸 謝 金 支 出	0	0		0
租 税 公 課 支 出	446,600	0		446,600
役 員 選 書 費 支 出	0	589,087		589,087
負 担 金 支 出	267,750	47,250		315,000
雑 支 出	14,610	2,578		17,188
事業活動支出計	49,181,027	3,024,631	0	52,205,658
事業活動収支差額	△ 13,153,441	6,696,756	0	△ 6,456,685
Ⅱ 投資活動収支の部				
投資活動収入				
特定資産取崩収入				0
退職給付引当資産取崩収入				0
学術国際協力事業積立資産取崩収入				0
投資活動収入計				0
投資活動支出				
特定資産取得支出	290,358	0		290,358
退職給付引当資産取得支出	290,358	0		290,358
学術国際協力事業積立資産取得支出				0
固定資産取得支出	0	0		0
ソフトウェア購入支出	0	0		0
投資活動支出計	290,358	0		290,358
投資活動収支差額	△ 290,358	0		△ 290,358
Ⅲ 財務活動収支の部				
財務活動収支差額	0	0		0
Ⅳ 予 備 費 支 出	0	0		0
当期収支差額	△ 13,443,799	6,696,756		△ 6,747,043
前期繰越収支差額	△ 4,840,679	47,941,461		43,100,782
次期繰越収支差額	△ 18,284,478	54,638,217		36,353,739

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、未払金、前受金、預り金及び未払消費税等を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	47,060,218	43,025,195
未収金	1,630,289	1,832,200
前払金	607,640	440,920
仮払金	10,440	10,000
合 計	49,308,587	45,308,315
未払金	3,016,305	5,149,600
前受金	2,958,000	3,119,500
預り金	233,500	239,976
未払消費税等	0	445,500
合 計	6,207,805	8,954,576
次期繰越収支差額	43,100,782	36,353,739

監査報告書

令和4年5月6日

公益社団法人 砂防学会
代表理事 藤 田 正 治 殿

監事 天尾 潔 

監事 三木 洋一 

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

（2）計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

審議事項

第2号議案

第6期役員選任を求める件

理事・監事候補者名簿

(五十音順)

(令和4年6月8日)

区 分	常勤・非常勤の別	氏 名	所 属	新任	重任
理 事	非常勤	浅 野 志 穂	国立研究開発法人森林研究・整備機構		○
"	非常勤	池 田 誠	八千代エンジニアリング株式会社		○
"	非常勤	石 井 靖 雄	国立研究開発法人土木研究所	○	
"	非常勤	巖 倉 啓 子	国土交通省北海道開発局	○	
"	非常勤	内 田 太 郎	筑波大学	○	
"	非常勤	大 野 宏 之	一般社団法人全国治水砂防協会		○
"	非常勤	小川内良人	国土防災技術株式会社		○
"	非常勤	笠 井 美 青	北海道大学		○
"	非常勤	柏 原 佳 明	アジア航測株式会社	○	
"	非常勤	栗 原 淳 一	一般財団法人砂防・地すべり技術センター	○	
"	非常勤	小 杉 賢 一 朗	京都大学		○
"	非常勤	五 味 高 志	東京農工大学		○
"	非常勤	権 田 豊	新潟大学		○
"	非常勤	笹 原 克 夫	高知大学		○
"	非常勤	里 深 好 文	立命館大学		○
"	非常勤	清 水 収	宮崎大学	○	
"	非常勤	地 頭 藺 隆	鹿児島大学		○
"	非常勤	執 印 康 裕	九州大学		○
"	非常勤	田 中 隆 文	名古屋大学		○
"	非常勤	堤 大 三	三重大学		○
"	非常勤	富 田 陽 子	国土交通省国土技術政策総合研究所		○
"	非常勤	永 田 雅 一			○
"	非常勤	西 山 幸 治	株式会社建設技術研究所		○
"	非常勤	林 孝 標	長野県建設部	○	
"	非常勤	平 松 晋 也	信州大学		○
"	非常勤	藤 田 正 治	京都大学		○
"	非常勤	松 尾 新 二 朗	日本工営株式会社		○
"	非常勤	水 野 秀 明	九州大学		○
"	非常勤	山下伸太郎	株式会社建設技術研究所		○
"	非常勤	山 田 孝	北海道大学		○
監 事	非常勤	佐 藤 一 幸	株式会社エイト日本技術開発	○	
"	非常勤	須 賀 真 司	三重県県土整備部	○	

報告事項

第 1 号報告

令和 3 年度事業報告の件

令和3年度事業報告

Ⅰ 砂防に関する研究及び調査並びにその奨励と普及

(1) 緊急調査団の設置と災害緊急調査の実施

砂防学会では、社会に影響を及ぼす土砂災害が発生した場合、緊急調査の必要性や方針を審議し、緊急調査の企画を行う特別災害対応委員会（委員長：藤田正治会長）を組織している。

令和3年度は以下の災害緊急調査を実施した。

1) 令和3年7月静岡県熱海市で発生した土石流災害に係る緊急調査

令和3年7月3日に豪雨により、静岡県熱海市伊豆山地区、逢初川で大規模な土石流が発生した。砂防学会では、土砂災害の実態把握を行うため、緊急調査を実施し、また降水量の解析を行った。

調査団名 令和3年7月静岡県熱海市で発生した土石流災害に係る緊急調査団

調査日 令和3年8月12日（木）

調査団員 団長：今泉 文寿（砂防学会東海支部、静岡大学）

団員：里深 好文（砂防学会関西支部、立命館大学）

田中 隆文（砂防学会東海支部、名古屋大学）

高山 翔輝（砂防学会東海支部、静岡大学）

小山内信智（砂防学会関東支部、政策研究大学院大学、

（一般財団法人砂防・地すべり技術センター）

坂井 佑介（砂防学会関東支部、国土交通省国土技術政策総合研究所）

小池 優（砂防学会東海支部、国土交通省中部地方整備局、

国土交通省国土技術政策総合研究所）

西 陽介（砂防学会東海支部、日本工営株式会社）

坂口 宏（砂防学会東海支部、アジア航測株式会社）

加藤 真雄（砂防学会東海支部、玉野総合コンサルタント株式会社）

加えて小杉賢一朗（砂防学会関西支部、京都大学）が降雨の解析を実施した。

2) 令和3年8月豪雨災害に係る緊急調査

令和3年8月台風第9号から変わった温帯低気圧の影響による豪雨及び11日からの前線に伴う大雨により、東北地方から九州地方に至る全国各地で土砂災害が発生した。砂防学会では、二次災害の防止等のための行政への支援、住民の方々の安全の確保等に寄与することを目的として既に個々に実施している調査に加えて緊急調査団を組織することを決定し、以下の日程で調査団を派遣した。

① 青森県下北北部で発生した土砂災害に係る緊急調査団

（公益社団法人日本地すべり学会東北支部と合同調査）

第1回目

調査日 令和3年9月18日(土)～9月20日(月)

調査団長：鄒 青穎(弘前大学)

団員：砂防学会東北支部会員 (2)

第2回目 (公益社団法人日本地すべり学会東北支部と合同調査)

調査日 令和3年11月6日(土)～11月7日(日)

調査団長：井良沢道也(砂防学会東北支部長, 岩手大学)

副団長：鄒 青穎(弘前大学)

金 俊之(青森県上北地域県民局)

高見智之(国際航業株式会社)

団員 砂防学会東北支部会員 日本地すべり学会東北支部会員

② 長野県岡谷市周辺で発生した土砂災害に係る調査団

調査日 令和3年11月8日(月)

調査団長：平松 晋也(砂防学会信越支部長, 信州大学)

団員 : 青木 能健(長野県建設部)

権田 豊(新潟大学)

古谷 元(富山県立大学)

小野 和行(日本総合建設株式会社)

林 利行(国土交通省北陸地方整備局)

谷口さゆり(国土交通省北陸地方整備局)

澤 陽之(アジア航測株式会社)

山田 泰弘(国土防災技術株式会社)

高橋 裕史(一般社団法人北陸地域づくり協会)

宮田 秀介(京都大学防災研究所)

福山泰治郎(信州大学)

③ 広島県広島市周辺で発生した土砂災害に係る緊急調査団

調査日：令和3年8月25日、8月27日、8月29日、9月7日、9月23日、9月24日、
10月11日、10月17日

調査団長：海堀 正博(砂防学会中四国支部長, 広島大学)

団員 砂防学会中四国支部会員

④ 九州地方で発生した土砂災害に係る緊急調査団

調査日 令和3年11月12日(金)

調査団長：地頭藺 隆(砂防学会九州支部長, 鹿児島大学)

調査団 : 清水 収(砂防学会九州副支部長, 宮崎大学)

大石 博之(西日本技術開発株式会社)

岡野 和行（アジア航測株式会社）
坂島 俊彦（パシフィックコンサルタンツ株式会社）
鳥田 英司（アジア航測株式会社）
吉永 子規（砂防エンジニアリング株式会社）

上記調査団の調査結果については砂防学会誌（英文誌を含む）に報告するとともにホームページにも随時掲載した。

(2) 受託研究調査

研究・調査受託事業取扱規程に基づき、以下の研究・調査業務を受託し委員会の管理のもとに実施した。

- ① 令和３年度「土砂災害が発生するおそれがある土地の区域等」の設定に関する検討業務
受託元：一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構

(3) 砂防学会賞授与

- ① 令和３年度「砂防学会賞」受賞者を表彰した。

・論文賞

受賞者：牧野裕至

対象論文：牧野裕至, 田村圭司, 森下 淳, 赤沼隼一, 伊藤誠記, 後藤 健, 奥山悠木, 藤田 暁, 高田 望, 因幡直希, 池淵周一(2019)：詳細地形の影響を考慮したメソ α スケールの気象現象時間の降雨量予測に基づく土砂災害（土石流）警戒判定について, 砂防学会誌, Vol. 72, No. 4, p. 3-14

・論文奨励賞

受賞者：丹羽 諭

対象論文：丹羽 諭, 内田太郎, 泉山寛明, 桜井 亘, 大野亮一, 寺田秀樹, 里深好文(2018)：大規模土砂生産後の土砂流出を対象とした河床変動計算における流れ幅の設定の影響, 砂防学会誌, Vol. 70, No. 6, p. 34-45

・技術賞

受賞者：大野亮一

対象業績：大野亮一(2016)：粒子法を使った三次元流木シミュレータ, 砂防学会誌, Vol. 69, No. 4, p. 16-20

- ② 令和４年度「砂防学会賞」受賞者を決定した。

・論文賞

受賞者：田村圭司

対象論文：田村圭司, 小菅尉多, 内田太郎, 永田葉子, 小杉賢一朗, 水山高久(2018)：

六甲山系における山地河川の浮遊砂の計測と特性, 砂防学会誌, Vol. 71, No. 1,
p. 3-14

・論文奨励賞

受賞者: 高山翔揮

対象論文: 高山翔揮, 藤本将光, 里深好文(2020): 進行性崩壊による天然ダム決壊過程
に関する研究, 砂防学会誌, Vol. 72, No. 5, p. 3-14

・技術賞

受賞者: 内藤秀弥

対象業績: 内藤秀弥, 宮田秀介, 岸本昌之, 服部浩二, 石塚忠範, 永田葉子, 小菅尉多,
藤田正治(2018): TDR による土砂濃度計測を用いた山地河川での浮遊砂鉛直
分布の観測, 砂防学会誌, Vol. 71, No. 4, p. 3-12

(4) 支部活動

①北海道支部

・土砂災害調査緊急対応

令和3年8月豪雨により青森県下北半島で発生した土砂災害緊急調査に参加した。

・現地見学会・室内説明会 「北海道で初めて施工された琴似発寒川砂防流路工<温故知新>」

開催日: 令和3年10月25日(月) 参加者約80名

講師(現地・室内): 石川勲氏(株)シン技術コンサル常務取締役 元北海道職員)

・令和3年度(公社)砂防学会北海道支部研究発表会

開催日: 令和3年11月12日(金)

・大学生・大学院生向け砂防関係就職説明会

開催日: 令和4年1月25日(火) 北海道大学農学部本館N12 講義室

②東北支部

・セミナー・現地見学会

支部総会に合わせてセミナーと現場見学会は、岩手県の県土整備部砂防災害課と農林水産
部森林保全課の協力により行う予定であったが、総会とともに中止とした。

・若手会の活動

第1回勉強会を令和3年8月5日(木)にWeb形式で行った(約30名参加)。

令和3年9月24日開催予定の現場見学会の事前勉強

第2回勉強会はWebによる現場からの中継によることとして9月8日に予定したが、新型コ
ロナウイルス感染症の拡大により中止とした。

・砂防分野の就職説明会

開催日: 令和3年12月21日(火) オンラインで開催

③関東支部

- ・令和3年5月19日から21日まで開催されたオンライン研究発表会の運営を支援した。

④信越支部

・砂防講習会

令和3年10月26日（火）15時より、国土交通省北陸地方整備局立山砂防事務所川合康之調査課長（前 九州地方整備局筑後川河川事務所九州北部豪雨復興出張所地域防災調整官）を講師として「平成29年7月九州北部豪雨による土砂災害と対応」と題して砂防講習会をオンラインで開催した。講習会には90名（砂防学会員46名、非会員44名）が参加した。講習会は（一社）建設コンサルタンツ協会にCPD認定プログラムとして承認され（CPD=1.50）、希望者のうち受講が確認された50名に受講証明書を交付した。

・現地見学会・検討会

令和3年3月3日に糸魚川市来海沢の船浦山北西斜面で発生した地すべり地を対象として、令和3年11月10日、（公社）砂防学会信越支部と（公社）日本地すべり学会新潟支部の主催、（公社）日本地すべり学会中部支部との共催で現地見学会を実施した。見学会・検討会には30名が参加し、糸魚川市内の検討会会場において現地の地形地質等の概要、地すべり移動に伴う災害状況、発災後のソフト・ハード対策や観測状況等の説明と質疑応答が行われた。質疑応答後、会場からバスで移動し、地すべり地の下部から滑落崖までの土砂移動状況や監視状況等を見学した。標高300m付近に設置された杭打工を見学した後、来海沢地区の西川橋で大型土のうやブロック、警報システム等のハード・ソフト対策の整備状況を見学した。

・災害調査

岡谷市川岸東で令和3年8月15日に発生した土砂災害を受けて、令和3年11月8日に長野県砂防課および諏訪建設事務所の協力のもと現地調査を実施した。調査団のメンバーは平松晋也支部長を団長とする12名で、岡谷市川岸東の2溪流（中大久保・大久保）と、土砂や流木を捕捉した本沢川砂防堰堤および小田井沢4号砂防堰堤の状況を調査した。調査後、釜口水門管理事務所会議室で現地の状況を振り返るとともに、災害報告取りまとめの打ち合わせを行った。調査の結果は、調査団のメンバーが分担執筆して、砂防学会誌に災害報告として投稿することとなった。

・砂防就職説明会の開催

開催日 令和4年2月4日（金） オンライン開催

⑤東海支部

- ・運営委員会開催（web） 令和3年5月17日 出席：17名

・災害調査

令和3年7月静岡県熱海市で発生した土石流災害に係る緊急調査の実施。9月21日に調査報告を学会ホームページに掲載。砂防学会誌 Vol.74, No.5に掲載。

・砂防関係就職説明会の開催

開催日 令和4年3月31日 オンライン開催（静岡大学担当）

⑥関西支部

- ・支部幹事会・運営委員会の開催（令和3年5月13日，Remoによるオンライン）
- ・支部幹事会の開催（令和3年5月17日，メール審議）[シンポジウム後援に関する議論]
- ・支部幹事会の開催（令和3年7月7日～令和3年7月9日，メール審議）[支部総会の準備]
- ・関西支部総会の開催（令和3年7月12日～令和3年7月19日，WEB・書面による）
- ・支部幹事会・運営委員会の開催（令和3年12月22日～令和4年1月5日，メール審議）
[就職説明会の検討]
- ・砂防学会関西支部就職説明会の開催（令和4年1月20日，Zoomによるオンライン，参加者44名（内，学生26名））

⑦中四国支部

- ・支部主催のシンポジウムの開催
令和3年7月30日、支部主催シンポジウム「豪雨による表層崩壊・深層崩壊等を再考する」をオンラインで開催した。中四国支部から2件、九州支部長の鹿児島大学地頭菌隆教授と信越支部長の信州大学平松晋也教授からそれぞれ1件の話題提供の後、総合討論会を実施した。参加者は80名。
- ・支部共催の災害調査報告会の開催
令和3年10月23日、令和3年8月の大雨による土砂災害現地調査報告会を地盤工学会中国支部との合同で、広島YMCA国際文化ホールからオンライン開催で実施した。
- ・支部後援のオープンディスカッションの開催
令和3年11月17日、広島大学防災・減災研究センター主催の「オープンディスカッション 2021 地域を知り、命を守る～パンデミック下での分散避難～」(オンライン開催)を後援した。
- ・支部後援の防災講演会の開催
令和3年11月6日、日本技術士会中国本部岡山県支部主催の防災講演会「防災教育に関する取り組み」(オンライン開催)を後援した。
- ・災害現地調査の実施
令和3年8月25日、8月27日、8月29日、9月7日、9月23日、9月24日、10月11日、10月17日の8回、令和3年8月の大雨による土砂災害現地調査を中四国支部として実施した。
- ・砂防関係就職説明会の実施
開催日：令和4年1月21日（月）広島大学担当オンライン開催
- ・支部会議等
 - ・令和3年4月27日、支部運営委員会を開催。
 - ・令和3年5月、メール審議による支部定時総会を実施。
 - ・令和3年4月20日、6月11日、6月28日、7月19日、7月26日、8月23日、9月2日、10月7日、10月19日、11月25日、12月27日、令和4年1月6日に、幹事会・打合会を開催・実施。

⑧九州支部

- ・運営委員会・総会開催（WEB） 令和3年4月27日（火） 出席者24名

・災害現地調査の実施

令和 3 年 8 月の豪雨により発生した土砂災害に対し、九州支部では長崎県雲仙市小浜町雲仙の宿泊施設「青雲荘」近くで発生した土砂災害に対して調査を実施した。

調査日 令和 3 年 11 月 12 日（金）

・砂防関係就職説明会の実施

開催日：令和 3 年 11 月 17 日（水）鹿児島大学農学部

開催日：令和 4 年 2 月 3 日（木）九州大学農学部

II 砂防に関する研究及び調査の助成

(1) 令和 3 年度若手研究助成の実施

以下の 4 課題の若手研究技術開発助成を実施した。

① 課題名 改良型 HYCY モデルを用いた山地源流域における降雨流出特性の解明

代表者 稲岡 諄（京都大学農学研究科修士 1 年）

助成額 352,000 円

② 課題名 山地河川における流木ダム形成実態の把握

代表者 宮崎 仁（東京農工大学農学部 4 回生（大学院進学予定））

助成額 400,000 円

③ 課題名 土層から基岩への素早い地下水浸透・貯留プロセスに選択流が与える影響

代表者 吉野孝彦（北海道大学農学院博士後期課程 1 年）

助成額 400,000 円

④ 課題名 大規模地震後の崩壊危険度評価の為の基盤モデルの検討

代表者 山口柊生（北海道大学農学院修士 1 年）

助成額 400,000 円

(2) 令和 3 年度公募研究助成の実施

以下の 2 課題の研究会を実施した。

① 研究会名： 気候変動が土砂災害に及ぼす影響研究会

研究テーマ：気候変動が土砂災害に及ぼす影響評価

研究代表者：内田太郎（筑波大学），会員

研究期間： 令和 3 年度～令和 5 年度

令和 4 年度助成額 400,000 円

② 研究会名： 有珠山土砂災害減災技術研究会

研究テーマ：有珠山次期噴火時の土砂災害シナリオ作成と効果的な減災技術手法についての総合研究

研究代表者：山田孝（北海道大学），会員

研究期間： 令和3年度～令和5年度

令和4年度助成額 400,000 円

(3) 令和4年度の若手研究助成の公募と審査

若手研究助成の公募を行い，4 課題を採択した。

①課題名 地震による斜面崩壊がもたらす流域カーボンストックへの影響評価

代表者 八十川 伊織（東京農工大学農学部4年（修士課程進学予定））

助成額 400,000 円

② 課題名 過去の降雨・災害の履歴を利用することによる詳細な流域ごとの特性を考慮した警戒指標の検討

代表者 福田 幹（京都大学大学院農学研究科 修士課程1年）

助成額 395,000 円

③ 課題名 土石流における流木による到達距離と侵食への影響とその挙動について

代表者 片岡 幹人（神戸大学大学院海事科学研究科 修士課程1年）

助成額 400,000 円

④ 課題名 降雨時の斜面崩壊における地下水および変形挙動に関する実験的検討

代表者 QIN Xin（立命館大学大学院 博士後期課程2年）

助成額 400,000 円

(4) 令和4年度の研究会助成の公募と審査

研究会の公募を行い，2 課題（継続）を採択した。

③ 研究会名： 気候変動が土砂災害に及ぼす影響研究会

研究テーマ：気候変動が土砂災害に及ぼす影響評価

研究代表者：内田太郎（筑波大学），会員

研究期間： 2021～2023 年度

令和4年度助成額 400,000 円

④ 研究会名： 有珠山土砂災害減災技術研究会

研究テーマ：有珠山次期噴火時の土砂災害シナリオ作成と効果的な減災技術手法についての総合研究

研究代表者：山田孝（北海道大学），会員

研究期間： 2021～2023 年度

令和4年度助成額 400,000 円

III 砂防に関する研究発表会、講演会、講習会等の開催及び見学視察等の実施

(1) 研究発表会の開催

令和3年5月19日から21日までの間、オンラインにより研究発表会を開催した。19日には令和3年度砂防学会賞の口頭発表を、20日には令和2年度砂防学会賞の口頭発表を行った。

特別講演は「コロナ禍における地区防災計画の課題」と題して室崎益輝氏（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長）が講演した。

研究発表会では、企画セッション、テーマ別セッション、一般口頭発表、ポスターセッションの4形式をとり、企画セッションとして「コロナ禍における土砂災害に備えた地区防災計画のあり方と実効化」（5編）が、テーマ別セッションとして「土砂・洪水氾濫による被害と対策について」（6編）、「砂防分野における人工衛星やUAV等のリモートセンシング技術を用いた調査の活用」（6編）、「2020年の土砂災害調査から見えてきた問題点と解決策」

（4編）の各セッションを行い、一般口頭発表として、土砂流出（12編）、流砂及び土石流（14編）、斜面崩壊（14編）、管理・計測（7編）、火山砂防（7編）、地震（5編）、構造物（19編）、生態系の保全及び創出（4編）、砂防計画・事業（9編）、水文（6編）、警戒・避難（20編）の各セッションを行った。参加者919名、口頭発表件数が138件、ポスターセッション発表件数が191件あった。

令和3年度砂防学会「オンライン大会」では、優れた調査研究を行い発表した若手学会員を対象として、その功績を称えとともに、若手学会員の研究意欲の高揚と砂防に関する調査研究の進展を目的として、若手優秀発表賞を設けた。

ノミネートされた全78件の口頭ならびにポスター発表に対し、審査員による採点結果をもとに、最優秀発表者（各1名）、優秀発表者（各2名）、奨励賞（口頭発表4名、ポスター発表9名）を表彰した。

若手優秀発表賞授与者と発表論文は以下の通り。

口頭発表受賞

最優秀発表賞

原田大輔氏（国立研究開発法人土木研究所）

「多量の土砂を含む洪水氾濫流の特徴 -2019年五福谷川洪水を例に-

優秀発表賞

池本敦哉氏（群馬工業高等専門学校専攻科環境工学専攻）

「直方体構造物を迂回・越流する溶岩流の堆積形状に関する研究」

清水彩香氏（一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構）

「土砂災害を対象とした地区防災計画作成の技術的支援方策」

奨励賞

嶋崎諒子氏（京都大学工学部地球工学科）

「観測雨量による簡易湧水量推定モデルの構築とそれを用いた土砂災害発生危険度の検討」

渡部春樹氏（日本工営株式会社）

「横棧型シャッターと大暗渠堰堤の組み合わせによる遊砂地の土砂調節と流木捕捉」

齋藤はるか氏（朝日航洋株式会社）

「火山対策における噴石の留意事項について」

鈴木心氏（三重大学大学院）

「地球温暖化による強度低下を起因とした氷河湖決壊洪水の発生危険度評価」

ポスター発表受賞

最優秀発表賞

柳井鴻太郎氏（京都大学農学研究科）

「山地斜面における不均質な土壌透水性分布が排水能力に及ぼす影響」

優秀発表賞

長塚結花氏（八千代エンジニアリング株式会社）

「鋼製砂防構造物の機能・性能の喪失現象に着目したフォルトツリーの検討」

由永尚暉氏（鹿児島大学農学部）

「始良カルデラ壁における地下水型崩壊発生の予測」

奨励賞

河合貴之氏（国際航業株式会社）

「山地溪流の表面侵食・土砂移動調査におけるハンディ・レーザスキャナの活用 ～奈良県池郷川流域を事例として～」

大盛泰我氏（中電技術コンサルタント株式会社）

「UAVを活用した砂防施設維持管理 CIM モデルの一提案について」

福田幹氏（京都大学農学研究科）

「解析雨量・降水短時間予報によるスネーク曲線の既往最大値を利用した土砂災害発生予測」

高橋諒氏（株式会社オリエンタルコンサルタンツ）

「地流木対策施設における捕捉状況に関する一考察」

寺山祐司氏（京都大学農学部）

「亀裂のある山体基岩の模型実験による不飽和水文特性の測定」

Shodai Inokoshi 氏（東京農工大学大学院農学府）

「Estimating catchment scale evapotranspiration based on forest measurement using airborne LiDAR」

西脇彩人氏（国土技術政策総合研究所）

「豪雨時における土砂移動の実態把握のための高精度な土砂収支図作成の試み」

笠原菜月氏（新潟大学）

「トルコ共和国黒海沿岸地域における崩壊の研究 ～茶畑では崩壊が発生しやすいのか～」

青柳昌憲氏（京都大学大学院農学研究科）

「住宅地へ流入する土石流溪流における災害リスクの評価方法の検討」

(2) 講習会、現地検討会の開催

1) 若手砂防・土木技術者のための奥飛騨研修会

山地流域における土砂動態やそのモニタリング、または多種多様な砂防施設の機能と問題点などに関する現地研修会を実施した。

- ・ 日時：令和3年11月17日（水）
- ・ 実施場所：京都大学防災研究所附属流域災害研究センター穂高砂防観測所（高山市奥飛騨温泉郷中尾）
- ・ 参加者 20 名

2) 令和3年度砂防学会講演会

砂防学会が発刊した「砂防の観測の現場を訪ねて」をテーマに講習会を開催した。

日時：令和3年12月17日（金）15:00～17:00

開催方法：オンライン

プログラム

「表層崩壊の発生を予測するための調査・観測」筑波大学准教授 内田太郎氏

「水文調査から土砂災害を予測する」鹿児島大学教授 地頭蘭隆氏

「世界文化遺産・清水寺における土砂災害観測」立命館大学准教授 藤本将光氏

参加者 99 名

IV 砂防に関する建議並びに諮問に対する答申

令和3年度は該当なし。

V 会誌及び砂防に関する図書、報論文、資料等の刊行

- 1) 砂防学会誌（和文）の発刊 Vol. 74 (No. 1～6) の6冊を刊行した。
- 2) 砂防学会誌英文誌, Vol. 13, ISSUE 4, Vol14, ISSUE 1, 2 をWeb上に公開した。
- 3) 令和3年度砂防学会研究発表会概要集をWEB公開した。
- 4) 砂防人材育成委員会の提言を受け、関係の若手研究者、技術者を育成するため「砂防の観測の現場を訪ねて2～土山地河川内の複雑な土砂の動きを知る～」の発刊し、「砂防の観測の現場を訪ねて3～水の動きの不思議～」の発刊準備を行った。

VI 砂防関係図書及び資料の収集・保管・公開

(1) 情報提供

- 1) 砂防学会ホームページの管理・更新、英語版の作成、メーリングリストの運営を行った。
- 2) 砂防学会誌, Vol. 73 No. 6 まで J-STAGE へ公開した。
- 3) 砂防学会誌英文誌, Vol14, ISSUE 2 まで J-STAGE へ公開した。

(2) 砂防図書館

砂防関係団体と共同で砂防図書館（東京都千代田区平河町 2-7-4 砂防会館別館 A 棟 3 階）を運営し、砂防関係学術資料の収集、保管、公開を行った。

VII 砂防の発展に資する学術国際活動

(1) 国際ワークショップの開催

令和 4 年 3 月 2 日に東京農工大学において学会共催でオンラインワークショップ「TUAT-WISE International Online Workshop in Experimental Geomorphic Processes」を開催した。

(2) 海外学術情報収集・調査助成及び海外学術調査は新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえ中止した。

(3) 英語版砂防学会ホームページの管理

(4) 各種国際会議の案内

39 件の国際会議の案内を砂防学会誌、Vol. 74, No. 1 ~ No. 6 に掲載した。
ホームページにも国際会議情報として随時更新し、情報発信に努めた。

VIII 砂防技術者の育成

(1) 砂防関係就職説明会の開催

砂防関係就職説明会を 12 月から 3 月にかけて 8 会場（北海道、東北支部オンライン、富山県（ハイブリッド）、東海支部オンライン、関西支部オンライン、中四国支部オンライン、福岡県、鹿児島県）にて開催し、若手人材の育成に努めた。

(2) 技術者継続教育（CPD）の支援

砂防技術者の能力の維持・向上のため、本学会の技術者継続教育（CPD）制度の評価見直しを行うとともに、継続教育プログラムを提供、証明書を発行した。

IX 砂防技術者の資格付与と教育

(1) 砂防・急傾斜管理技術者資格更新講習の実施と資格付与

令和 3 年度の砂防・急傾斜管理技術者資格一次試験は、令和 3 年 8 月 29 日（土）に東京、長野、京都、福岡の 4 会場で実施し、22 名が受験し 13 名が合格した。二次試験は令和 3 年 10 月 30 日（土）京都及び福岡の 2 会場で、11 月 6 日（土）東京会場で実施し、14 名が受験し全員合格した。

平成 28 年度に資格登録した者を対象に資格更新のための講習会を、令和 3 年 11 月 1 日から 30 日までの 1 ヶ月間、オンデマンド方式により実施し、70 名が受講し、資格更新した。令和 4 年 3 月 31 日現在で砂防・急傾斜管理技術者資格保持者は 438 名である。

講習内容 「近年の土砂災害の特徴」 広島大学防災・減災研究センター長 海堀正博氏

「急傾斜地崩壊対策事業に係る技術図書の改訂」及び

「最近の豪雨災害からの教訓」 国土技術政策総合研究所室長 中谷洋明氏

X 会議の開催

(1) 定時総会

令和3年6月24日10時から東京都千代田区砂防会館において代議員による定時社員総会を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から極力委任状、議決権行使書による審議した。社員総数136名に対し出席者および委任状提出者は計106名（定款第22条の規定による定足数は69名）で総会は成立した。

- 議案： 第1号議案 令和2年度収支決算の承認を求める件
第2号議案 第6期役員候補者推薦委員の選任を求める件
報告： 第1号報告 令和2年度事業報告の件
第2号報告 令和3年度事業計画の報告の件
第3号報告 令和3年度収支予算の報告の件

(2) 理事会

- 第1回 令和3年6月8日（東京都千代田区）一部WEB参加
令和2年度事業報告案承認の件
令和2年度収支決算案承認の件
令和3年度収支予算変更案承認の件
第6期役員選挙に係る選挙管理委員会委員の選任の件
第6期役員候補者推薦委員会委員の推薦の件
令和3年度定時社員総会招集の件
支部幹部変更承認の件
入会者承認の件
他学協会からの後援依頼承認の件
- 第2回 令和3年10月18日（書面決議）
（公社）砂防学会代議員選挙用支部代議員定数についての承認の件
- 第3回 令和3年11月22日（東京都千代田区）一部WEB参加
入会者承認の件
他学協会からの後援依頼承認の件
- 第4回 令和4年1月17日（書面決議）
（公社）砂防学会謝金規程の一部改訂の承認の件
（公社）砂防学会表彰規程の一部改訂の承認の件
令和4年度砂防学会賞選考委員選任の承認の件
- 第5回 令和4年3月23日（東京都千代田区）
令和3年度事業報告案承認の件
令和3年度収支決算見込み案承認の件

令和4年度砂防学会賞授賞者承認の件
令和4年度研究会及び若手研究助成承認の件
令和4年度受託研究承認の件
令和4年度の事業計画案承認の件
令和4年度収支予算案承認の件
令和5年度定時総会並びに研究発表会開催地承認の件
入会承認の件
他学会等からの後援依頼承認の件

(3) 部会長・幹事会会議

第1回 令和4年3月2日（東京都千代田区）

令和3年12月内閣府立入検査結果について
令和4年度研究発表会「宮崎大会」の準備状況について
表彰規程の改訂について
部会、委員会、支部報告
その他

(4) 令和4年度「砂防学会賞」選考委員会の開催

令和4年3月1日（リモート会議）、令和3年度砂防学会賞授賞候補者を選考した。

(5) 部会

1) 総務部会

①令和3年度砂防人材育成委員会

高度な専門知識を有する砂防人材の現況を把握するため、砂防関係教育研究機関に対するアンケート調査等の実施準備を進めた。

事前打ち合わせ（令和3年8月24日 東京都千代田区）

第1回委員会（令和3年11月19日 東京都千代田区）

第2回委員会（令和4年2月10日 オンライン会議）

「砂防の観測の現場を訪ねて2～山地河川内の複雑な土砂の動きを知る～」の発刊に続き「砂防の観測の現場を訪ねて3～水の動きの不思議～」の発刊に向けて計6回の出版プロジェクト委員会を開催し、テーマや掲載記事の選定、出版計画策定（発行予定日、発行部数、定価、印刷仕様、販売方法、販売先）、著者への時点更新依頼、委員会校正・編集などを行った。これより、3月末までに予定どおり印刷・製本が完了し、第3巻の販売に向けた準備が整った。

第1回出版プロジェクト委員会（令和3年4月2日 リモート会議）

- 第2回出版プロジェクト委員会（令和3年7月27日 リモート会議）
- 第3回出版プロジェクト委員会（令和3年10月28日 リモート会議）
- 第4回出版プロジェクト委員会（令和3年12月14日 東京都千代田区）
- 第5回出版プロジェクト委員会（令和4年2月8日 東京都千代田区）
- 第6回出版プロジェクト委員会（令和4年3月31日 東京都千代田区）

2) 経理部会

学会の財務体質の改善に向けて検討した。

- 第1回部会（令和3年8月30日 リモート会議）

3) 研究開発部会

令和4年度の公募研究会と若手研究助成の公募と審査、令和4年度の砂防学会研究発表会の企画・テーマ別セッションのテーマの案作成など

- 第1回部会（令和3年8月2日、リモート会議）
- 第2回部会（令和3年11月10日、リモート会議）
- 第3回部会（令和4年3月3日 リモート会議）

研究開発部会内に「気候変動研究小委員会」を設置した。

- 第1回研究小委員会（令和4年3月8日 東京都千代田区、リモート会議）

4) 編集部会・編集委員会（和文誌）

- 第1回部会（令和3年4月2日、リモート会議）
- 第2回部会（令和3年5月17日、リモート会議）
- 第3回部会（令和3年7月20日、リモート会議）
- 第4回部会（令和3年9月17日、リモート会議）
- 第5回部会（令和3年11月25日、東京都千代田区及びリモート会議）
- 第6回部会（令和4年1月26日、リモート会議）

【和文誌】

- ① 砂防学会誌(和文)の発刊 Vol.74 (No.1~6) 発刊
- ② 砂防学会誌(和文)のJ-STAGE への公開 Vol.73,No.5 まで公開した。

【英文誌】

- ① 英文誌の発刊とJ-STAGE への公開

Volume 14 公開

(2021年5月24日) Issue 1, 1 article

(2021年12月10日) Issue 2, 2 articles

- ② 国内土砂災害調査結果の掲載

2021年7月熱海市伊豆山土石流、2021年8月青森県下北半島北部の土砂災害を対象とした調査団報告（和文誌）を、その半分程度の量に圧縮して原稿（日本語）を作成

いただき、それを英文誌編集委員会で英訳し、Disaster News として掲載する準備を進めた。

5) 国際部会

新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえ、国際研究交流助成の募集は中止した。令和 4 年 3 月 2 日に東京農工大学において学会共催でオンラインワークショップ「TUAT-WISE International Online Workshop in Experimental Geomorphic Processes」を開催した。

砂防学会ホームページに海外学術情報を掲載した。

6) 事業部会

奥飛騨研修会は令和 3 年 11 月 17 日に開催したが、新型コロナウイルス感染症流行のため参加者は 20 名であった。

砂防学会が発刊した「砂防の観測の現場を訪ねて」をテーマに令和 3 年 12 月 17 日にオンラインによる講習会を開催した。参加者は 99 名であった。

また、砂防関係就職説明会を 12 月から 3 月にかけて 8 会場（北海道支部、東北支部オンライン、信越支部（ハイブリッド）、東海支部オンライン、関西支部オンライン、中四国支部オンライン、九州支部）にて開催し、若手人材の育成に努めた。

公益目的に合致した 1 件の調査研究受託を行った。

(6) 砂防技術推進機構関係

1) 企画・運営委員会

第 1 回 令和 4 年 2 月 7 日（東京都千代田区）

2) 試験判定小委員会

第 1 回 令和 3 年 5 月 11 日（東京都千代田区）

第 2 回 令和 3 年 6 月 15 日（東京都千代田区）

第 3 回 令和 3 年 7 月 9 日（東京都千代田区）

第 4 回 令和 3 年 8 月 10 日（東京都千代田区）

第 5 回 令和 3 年 9 月 8 日（東京都千代田区）

第 6 回 令和 3 年 9 月 17 日（東京都千代田区）

第 7 回 令和 3 年 11 月 12 日（東京都千代田区）

第 8 回 令和 4 年 2 月 3 日（東京都千代田区）

報告事項

第 2 号報告

令和 4 年度事業計画の報告の件

令和4年度（公社）砂防学会事業計画

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

基本方針

砂防学の進歩，砂防事業の発展，並びに砂防技術者の資質の向上を図り，もって国土の保全，国民生活の安全，学術文化の進展と社会の発展等に寄与することを目的とする。

令和4年度においては，以下の事業を推進する。

- (1) 砂防に関する研究及び調査並びにその奨励と普及
- (2) 砂防に関する研究及び調査の助成
- (3) 砂防に関する研究発表会，講演会，講習会等の開催及び見学視察等の実施
- (4) 砂防に関する建議並びに諮問に対する答申
- (5) 会誌及び砂防に関する図書，報論文，資料等の刊行
- (6) 砂防関係図書及び資料の収集・保管・公開
- (7) 砂防の発展に資する学術国際活動
- (8) 砂防技術者の育成
- (9) 砂防技術者の資格付与と教育
- (10) その他この目的を達成するために必要な事業

事業計画

1. 砂防に関する調査・研究ならびに奨励と普及

(1) 調査・研究

- 1) 災害調査の実施
- 2) 気候変動により激甚化する土砂災害に関する研究の実施

(2) 表彰

- 1) 令和3年度砂防学会賞（「論文賞」，「論文奨励賞」，「技術賞」）受賞者の表彰。
- 2) 令和4年度砂防学会賞（「論文賞」，「論文奨励賞」，「技術賞」）受賞者の決定。

(3) 広報活動

- 1) 広報委員会活動として，会員増に向けての対応，学会活動の充実，学会ホームページ，メーリングリストなどインターネットを通じた情報交換の促進に取り組む。

(4) 地域の特徴を生かした活動の推進

北海道、東北、関東、信越、東海、関西、中四国、九州8支部が地域の特徴を活かした学会活動を行う。

2. 技術者資格の付与と教育

砂防・急傾斜管理技術者資格試験は、一次試験を6月25日(土)に仙台、東京、長野、京都、福岡の5会場で実施し、二次試験を9月下旬に京都、福岡会場で10月上旬に東京会場で実施する。

3. 調査・研究に対する助成

- (1) 「若手研究助成」による研究技術開発、ワークショップ活動の助成
- (2) 「公募研究会」による研究会活動の助成
- (3) 「海外学術情報収集・調査助成」による研究者の海外活動の助成

4. 研究発表会、講演会、講習会の開催

- (1) 研究発表会
研究発表会 開催日 5月10～13日 宮崎市及びオンラインにて開催
- (2) 砂防学会が出版した「砂防の観測の現場を訪ねて」の講習会を開催する。
- (3) 現地検討会を開催する。

5. 砂防に関する建議並びに諮問に対する答申

必要に応じ、調査・研究結果に基づく砂防に関する提言を行う。

6. 会誌等刊行

- (1) 出版
 - 1) 砂防学会誌 Vol. 75, No. 1～No. 6までの6冊と英文誌 Vol. 15 を Web 上に記載する。また、砂防学会誌 Vol. 74 および英文誌を J-Stage3 に公開する。
 - 2) 令和4年度砂防学会研究発表会概要集をWEB上で公開する。
 - 3) 調査・研究等の成果報告書を刊行する。
 - 4) 「砂防の観測の現場を訪ねて」第1、2巻の販売促進を進めると同時に、「砂防の観測の現場を訪ねて 3 ～水の動きの不思議～」を発刊する。

7. 砂防関係図書および資料の収集・保管・公開

砂防図書・資料の保管整備、砂防図書館を充実する。

8. 学術国際活動

- (1) 国際交流会の開催
- (2) 国際セミナーの開催
- (3) 国際研究交流助成(仮)の公募、審査、候補者を選考する。

- (4) 各種国際会議等の最新情報を砂防学会誌に掲載する。
- (5) 英語版ホームページの管理

9. 砂防技術者の支援・育成

- 1) 技術者継続教育（CPD）への支援を行う。
- 2) 「若手砂防・土木技術者のための奥飛騨研修会」を開催する。
- 3) 「若手人材育成推進委員会」による就職説明会等を開催する。
- 4) 砂防女性技術者の会を開催する。

10. 支部活動

北海道，東北，関東，信越，東海，関西，中四国，九州支部において講演会，現地研修会等を実施する。

11. その他

令和4年度定時総会を6月に東京都内で開催する。

以上

報告事項

第 3 号報告

令和 4 年度収支予算の報告の件

令和4年度（公社）砂防学会 収支予算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日（決算）まで

（単位：円）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備考
I 一般正味財産増減の部				
経常増減の部				
経常収益				
基本財産運用益	600	3,000	△ 2,400	
基本財産受取利息	600	3,000	△ 2,400	
受取会費	26,595,000	26,389,000	206,000	
正会員受取会費	16,305,000	16,339,000	△ 34,000	
購読会員受取会費	1,200,000	1,200,000	0	
学生会員受取会費	450,000	460,000	△ 10,000	
賛助会員受取会費	8,640,000	8,390,000	250,000	
事業収益	19,790,000	19,930,000	△ 140,000	
出版事業収益	9,000,000	8,500,000	500,000	
研究発表会開催収益	7,000,000	5,650,000	1,350,000	
シンポジウム開催収益	0	0	0	
講習会等開催収益	300,000	800,000	△ 500,000	
受託事業収益	1,500,000	1,500,000	0	
資格認定事業収益	1,990,000	3,480,000	△ 1,490,000	
受取補助金等	3,000,000	1,000,000	2,000,000	
受取民間助成金	3,000,000	1,000,000	2,000,000	
受取寄附金	100,000	100,000	0	
受取寄附金	100,000	100,000	0	
雑収益	14,400	28,000	△ 13,600	
受取利息	200	500	△ 300	
雑収入	14,200	27,500	△ 13,300	
経常収益計	49,500,000	47,450,000	2,050,000	
経常費用				
事業費	38,300,000	43,307,600	△ 5,007,600	
給料手当	6,500,000	6,000,000	500,000	
福利厚生費	850,000	700,000	150,000	
会議費	200,000	200,000	0	
旅費交通費	750,000	900,000	△ 150,000	
通信運搬費	350,200	350,200	0	
支払手数料	900,000	900,000	0	
消耗品費	50,000	70,000	△ 20,000	
印刷製本費	90,000	90,000	0	
光熱水料費	25,000	25,000	0	
賃借料	1,375,000	1,375,000	0	
諸謝金	600,000	800,000	△ 200,000	
租税公課	50,400	300,400	△ 250,000	
委託費	0	0	0	
総務部	150,000	200,000	△ 50,000	
研究開発部	200,000	700,000	△ 500,000	
編集部	400,000	900,000	△ 500,000	
国際部	100,000	900,000	△ 800,000	
事業部	100,000	400,000	△ 300,000	
出版事業	16,000,000	16,000,000	0	
資格認定事業費	1,200,000	1,400,000	△ 200,000	
図書館運営費	1,110,000	1,110,000	0	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備考
研究発表会等開催費	3,100,000	5,450,000	△ 2,350,000	
研究発表会	3,000,000	4,950,000	△ 1,950,000	
シンポジウム	0	0	0	
国内シンポジウム	0	0	0	
国際シンポジウム	0	0	0	
講習会	100,000	500,000	△ 400,000	
研究費	3,250,000	3,050,000	200,000	
研究助成・ワークショップ	2,400,000	2,400,000	0	
海外学術情報・調査助成	200,000	300,000	△ 100,000	
突発災害緊急調査	600,000	300,000	300,000	
その他	50,000	50,000	0	
表彰制度運営費	100,000	250,000	△ 150,000	
支部活動費	800,000	1,200,000	△ 400,000	
雑費	49,400	37,000	12,400	
管理費	11,200,000	11,262,400	△ 62,400	
給料手当	6,500,000	6,000,000	500,000	
福利厚生費	850,000	700,000	150,000	
会議費	180,000	180,000	0	
旅費交通費	600,000	750,000	△ 150,000	
通信運搬費	350,000	350,000	0	
支払手数料	890,000	890,000	0	
消耗品費	50,000	70,000	△ 20,000	
印刷製本費	90,000	90,000	0	
光熱水料費	25,000	25,000	0	
賃借料	1,375,000	1,375,000	0	
諸謝金	0	0	0	
租税公課	50,000	300,000	△ 250,000	
役員改選費	0	200,000	△ 200,000	
支払負担金	220,000	320,000	△ 100,000	
雑費	20,000	12,400	7,600	
経常費用計	49,500,000	54,570,000	△ 5,070,000	
評価損益調整前当期経常増減額	0	△ 7,120,000	7,120,000	
評価損益等計			0	
当期経常増減額	0	△ 7,120,000	7,120,000	
経常外増減の部			0	
経常外収益			0	
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用			0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	△ 7,120,000	7,120,000	
一般正味財産期首残高	68,375,403	75,525,486	△ 7,150,083	
一般正味財産期末残高	68,375,403	68,405,486	△ 30,083	
Ⅱ 指定正味財産増減の部			0	
当期指定正味財産増減額			0	
指定正味財産期首残高			0	
指定正味財産期末残高			0	
Ⅲ 正味財産期末残高	68,375,403	68,405,486	△ 30,083	

令和4年度(公社)砂防学会収支予算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日(決算)まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等 消去	合 計
	調査研究・技術者育成事業	法人会計		
I 一般正味財産増減の部				
経常増減の部				
経常収益				
基本財産運用益	600	0	0	600
基本財産受取利息	600			600
受取会費	24,440,400	2,154,600	0	26,595,000
正会員受取会費	14,348,400	1,956,600		16,305,000
購読会員受取会費	1,056,000	144,000		1,200,000
学生会員受取会費	396,000	54,000		450,000
賛助会員受取会費	8,640,000			8,640,000
事業収益	19,790,000	0	0	19,790,000
出版事業収益	9,000,000			9,000,000
研究発表会開催収益	7,000,000			7,000,000
シンポジウム開催収益	0			0
講習会等開催収益	300,000			300,000
受託事業収益	1,500,000			1,500,000
資格認定事業収益	1,990,000			1,990,000
受取補助金等	3,000,000	0	0	3,000,000
受取民間助成金	3,000,000			3,000,000
受取寄附金	100,000	0	0	100,000
受取寄附金	100,000			100,000
雑収益	14,400	0	0	14,400
受取利息	200			200
雑収入	14,200			14,200
経常収益計	47,345,400	2,154,600	0	49,500,000
経常費用				
事業費	38,300,000	0	0	38,300,000
給料手当	6,500,000			6,500,000
福利厚生費	850,000			850,000
会議費	200,000			200,000
旅費交通費	750,000			750,000
通信運搬費	350,200			350,200
支払手数料	900,000			900,000
消耗品費	50,000			50,000
印刷製本費	90,000			90,000
光熱水料費	25,000			25,000
賃借料	1,375,000			1,375,000
諸謝金	600,000			600,000
租税公課	50,400			50,400
委託費	0			0
総務部	150,000			150,000
研究開発部	200,000			200,000
編集部	400,000			400,000
国際部	100,000			100,000
事業部	100,000			100,000
出版事業	16,000,000			16,000,000
資格認定事業費	1,200,000			1,200,000
図書館運営費	1,110,000			1,110,000

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等 消去	合 計
	調査研究・技術者育成事業	法人会計		
研究発表会等開催費	3,100,000	0	0	3,100,000
研究発表会	3,000,000			3,000,000
シンポジウム	0	0	0	0
国内シンポジウム	0			0
国際シンポジウム	0			0
講習会	100,000			100,000
研究費	3,250,000	0	0	3,250,000
研究助成・ワークショップ	2,400,000			2,400,000
海外学術情報・調査助成	200,000			200,000
突発災害緊急調査	600,000			600,000
その他	50,000			50,000
表彰制度運営費	100,000			100,000
支部活動費	800,000			800,000
雑費	49,400			49,400
管理費	9,520,000	1,680,000	0	11,200,000
給料手当	5,525,000	975,000		6,500,000
福利厚生費	722,500	127,500		850,000
会議費	153,000	27,000		180,000
旅費交通費	510,000	90,000		600,000
通信運搬費	297,500	52,500		350,000
支払手数料	756,500	133,500		890,000
消耗品費	42,500	7,500		50,000
印刷製本費	76,500	13,500		90,000
光熱水料費	21,250	3,750		25,000
賃借料	1,168,750	206,250		1,375,000
諸謝金	0	0		0
租税公課	42,500	7,500		50,000
役員改選費	0	0		0
支払負担金	187,000	33,000		220,000
雑費	17,000	3,000		20,000
経常費用計	47,820,000	1,680,000	0	49,500,000
評価損益調整前当期経常増減額	△ 474,600	474,600	0	0
評価損益等計				0
当期経常増減額	△ 474,600	474,600	0	0
経常外増減の部				
経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 474,600	474,600	0	0
一般正味財産期首残高	33,874,988	41,650,498		68,375,403
一般正味財産期末残高	33,400,388	42,125,098	0	75,525,486
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
Ⅲ 正味財産期末残高	33,400,388	42,125,098	0	75,525,486